

創薬人育成サマースクール2025

令和7年9月20日(土)

東北大学青葉山キャンパス:薬学研究科大講義室)
参加費 無料

**製薬現場の第一線研究リーダーが語る創薬研究
対象:創薬研究者を目指す大学院生相当**

13:00-14:20 生越 洋介 氏 (JT)

「腎性貧血治療薬エナロイ®(エナロデュスタット:HIF-Prolyl Hydroxylase阻害薬)の創薬研究」
～リード探索、リード最適化、薬理評価、プロセス研究～

腎性貧血治療薬エナロイ®(エナロデュスタット:HIF-Prolyl Hydroxylase阻害薬)の創薬研究について、リード探索から開発化合物創出に至る研究内容を紹介します。特許性を確保したリード化合物取得戦略、細胞活性向上を指向したリード最適化、in vivo活性評価の考察、商業生産ルートの合成プロセス検討について、研究当時の心境を交えて解説いただきます。

Ref. *ACS Med Chem Lett* 8, 1320-1325 (2017); *MEDCHEM NEWS* 32(2), 81-86 (2022);
DOI:10.14894/medchem.32.2_81



14:40-16:00 根津 淳一氏 (持田製薬株式会社)

「新しい薬の可能性を開く核酸医薬」

新しい医薬品のモダリティとしてASO(アンチセンスオリゴヌクレオチド)やsiRNA(small interfering RNA)といった核酸医薬が注目を集めている。従来の低分子医薬や抗体医薬では作用しない標的に対しても核酸医薬は作用することができるため、これまでは薬を作ることが不可能であった疾患に対しても有効な薬を作ることができると期待されている。これまでに承認された核酸医薬を取り上げ、薬理メカニズム・臨床での有用性などを説明し、siRNA創薬の実際について紹介していただきます。

Ref. *Nat Biotechnol* 42, 394-405 (2024).



企業人が多くのメッセージを直接学生に伝えることで創薬研究の重要性とその魅力を知ってもらいたい。

<http://medchem.pod.ne.jp>

問い合わせ先

〒980-8578

仙台市青葉区荒巻字青葉6-3

東北大学薬学研究科

土井隆行

TEL 022-795-6865

doi_taka@mail.pharm.tohoku.ac.jp